

## 平成 25 年度事業計画書

特定非営利活動法人  
あぶくま地域づくり推進機構

### 1 事業実施の方針

東日本大震災と東電原発事故からの復興・再生を念頭に、過疎・中山間地域が抱えるそもそもの課題に取り組む。避難による流動化に対応し、阿武隈地域から他の地域に移った方々、阿武隈地域に移って来た方々にも目を向け、新しい阿武隈地域を創造する。組織基盤の強化を図り、公的資金の活用とともに独自事業による予算開発を目指す。以下の項目を重点事項とする。

- (1) 支援に係わる事業
- (2) 過疎・中山間地域の振興に係わる事業
- (3) 新しいネットワークの構築に係わる事業
- (4) 独自事業と予算開発による組織基盤の強化に係わる事業
- (5) 調査や記録に係わる事業

今年度は福島県地域振興課（緊急雇用創出基金事業）の委託事業として「東北ろっけんパーク出店事業」「阿武隈地域誘客促進事業」の2つを受託した。合わせて5名を雇用し、事業を進めていく。「東北ろっけんパーク出店事業」は仙台市において、県内全域の特産品などを販売していく事業。「阿武隈地域誘客促進事業」はスタンプラリーとホームページによる情報発信の2本柱事業。このほか、同課が進める平成25年度過疎・中山間地域連携事業と結び付くさまざまな事業を推し進めていく。

具体的な事業展開は次の通り。

- (1) 支援に係わる事業
  - ・ かつらお村づくり協議会への参加
  - ・ 田村市都路地区再生、都路町商工会との連携
  - ・ 被災した地域づくり団体への支援
  - ・ 被災者の雇用創出
  - ・ 農業再開に関する支援
- (2) 過疎・中山間地域の振興に係わる事業
  - ・ 6次化製品の販売促進に関する支援

- ・風評の払しょくに向けた取り組み
- ・農業再開に関する支援
- ・イベントを活用した誘客促進

(3) 新しいネットワーク構築に係わる事業

- ・東北ろっけんパーク出店者との関係強化、ネットワーク構築
- ・あぶくまロマンチック街道構想推進協議会との連携

(4) 独自事業と予算開発による組織基盤の強化に係わる事業

- ・ふくしま復興コンシェルジュ構想の実現
- ・企業連携による独自事業の推進
- ・地域づくり活動の担い手育成、起業家支援

(5) 調査や記録に係わる事業

- ・農業再開に関する意向の調査
- ・東北ろっけんパーク出店者の販売動向

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
あぶくま学に係る事業	阿武隈地域活性化フォーラム	11-12月	三春町	3人	阿武隈全域	100
	地域再生に関する講演会	7-9月	田村市	3人	全県	300
交流の推進に関する事業	あぶくまの水源を歩こう	10月	田村市	5人	100人	400
	阿武隈地域誘客促進事業(緊急雇用創出基金事業)	4-3月	阿武隈全域	1人	阿武隈全域	6,000

産業の振興に係る事業	再生可能エネルギー地域導入支援事業	4-3 月	未定	3 人	未定	100
	東北ろっけんパーク出店事業(緊急雇用創出基金事業)	4-3 月	仙台市・全県	4 人	全県	18,000
中間支援に係る事業	相談業務	通年	未定	1 人	20 団体	0
	かつらお村づくり協議会の支援	4-3 月	葛尾村	3 人	葛尾村	50
基盤づくりに係わる事業	ふくしま復興コンシェルジュ構想事業	4-3 月	田村市	2 人	田村市	1,000
その他、第 3 条の目的を達成するために必要な事業	東北ろっけんパーク出店者交流会	3 月	郡山市	5 人	全県	700

(2) その他の事業

平成 25 年度は、その他の事業は行わない。

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	支出額(千円)
定めていない事業					